

平成 29 年 第 1 回 定例会

○代表質問

質問年月日	質問者	件名	要旨
平成 29 年 3 月 13 日 (2/28 受付)	未来 加藤嘉久次 (一括質問)	1. 福祉避難所について 2. 広域的な周遊観光について	1. 問題点と課題 2. 天理市は通過型になっていることの課題

平成 29 年 第 1 回 定例会

○一般質問

質問年月日	質問者	件 名	要 旨
平成 29 年 3 月 13 日 (2/24 受付)	仲 西 敏 (一問一答)	1. 福祉に関する事業について(高齢者を中心に) 2. 教育の諸課題について 3. 公民館と住民自治について	1－1. 地域包括ケアシステムの構築 1－2. 介護サービスの充実について 1－3. 高齢者の健康づくり対策について 1－4. I C Tの技術の利活用 2－1. I C Tの活用状況と今後の展望 2－2. 土曜学習、放課後学習について 2－3. 平成 28 年度全国学力・学習状況調査テスト結果への対応 3－1. 公民館の現状と課題 3－2. 公民館のあり方 3－3. これからの公民館
平成 29 年 3 月 13 日 (3/1 受付)	今 西 康 世 (一括質問)	1. 天理市の人口減少と税金、またその対策について 2. 働き方改革について	1－1. 2060 年の人口減少に伴う市の財政規模及び市税の状況について 1－2. 今後進むと思われる人口減少について、これからどのような対策を講じられるのか 1－3. 2060 年の財政規模を確保するために、今後市が取り組む具体的施策について 2－1. 天理市及び天理市役所の実態 2－2. 今後働き方改革についてはどうしていくのか、積極的な取り組みについて 2－3. 働き方改革について、議論の場を設けてはどうか(要望)
平成 29 年 3 月 13 日 (3/1 受付)	東 田 匡 弘 (一問一答)	1. 天理市における交流人口の拡大について 2. いじめ防止に向けての取り組みについて	1－1. まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みの現状と課題について 1－2. 天理駅周辺へにぎわいをつなぐことについて 1－3. 高原地区での新たなにぎわいづくりについて 2－1. いじめ問題の現状 2－2. いじめ防止基本方針策定を受けて

平成 29 年 3 月 14 日 (3/1 受付)	鳥 山 淳 一 (一問一答)	1. 魅力のある住みよいまちづくりについて	1-1. よりよい教育環境について ・総合教育会議の成果と来年度の重点について ・福住小学校特区及び小中一貫教育の進捗と今後について ・いじめ不登校の現状と対策及び市のニート対応（市しごとセンター）について 1-2. 子育て支援及び少子化対応について 1-3. 都市計画公園「天理ダム風致公園」整備と地域活性化について
平成 29 年 3 月 14 日 (3/1 受付)	堀 田 佳 照 (一括質問)	1. 龍王山の活性化について	1. 「古代」「中世」「現代」をキーワードに大和古墳群、山城跡、山の辺の道、長岳寺、トレイルセンターとの連携活用
平成 29 年 3 月 14 日 (3/2 受付)	荻 原 文 明 (一括質問)	1. 再生可能エネルギー等の普及促進について 2. 公営住宅建替えについて 3. J R 無人駅の活用について 4. テレワークについて 5. 歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりプロジェクトについて	1. 新電力の導入について検討することについて。共同住宅共用部 LED 化、住宅用エネルギー管理システム (HEMS) 導入、個人住宅の太陽光発電普及促進、家庭用燃料電池設置、家庭用蓄電システム設置、これらの促進のための費用への助成について。雨水貯留槽の普及について。 2. 公営住宅建替えと今後の方針について。 3. 鉄道駅舎は町の玄関口、無人化を解消し、有効活用により活性化と安全性を確保することについて。 4. テレワークの実施方針と今後の見通しについて。 5. 文化、芸術、スポーツは、市民が生涯にわたって健康で文化的な生活をいとなむ上で欠かせないものです。経済振興や来訪者への魅力発信も住民一人一人がこれらに親しんで豊かな生活を送ってこそ意義があるものです。こうした観点と今後の総合的市政運営について。

平成 29 年 3 月 14 日 (3/2 受付)	寺 井 正 則 (一問一答)	1. 安定的な供給を確保するための水道事業について 2. 子どもの医療費助成の現物給付について	1－1. 水道施設の適切な資産管理を推進する上で欠かすことのできない水道台帳の整備の状況は。 1－2. 日本の水インフラは高度経済成長期の 1970 年代に急速に整備が進んだため、今後一気に老朽化の波が押し寄せてくるが、本市の見通しは。 1－3. 水質の安全を確保する上で、早急な更新が必要な鉛管とアスベスト管の交換は終わっているか。また、管路更新率は何%か。 1－4. 昨年の熊本地震では耐震化の必要性が表面化した。耐震管への取り換えの状況は。 1－5. 本市のアセットマネジメントの概要は。 1－6. 安定供給のため広域連携に向けた考えは。 1－7. 長期的な見通しに基づいた持続可能なサービスに見合う水道料金の設定についての考えは。 2－1. 子どもの医療費助成の現物給付を行っていないのは奈良県を含めて全国で4県だけ。その理由は。 2－2. 子ども医療費助成の窓口無料化について県との協議を進める考えは。
--	---------------------------	--	---